

# 面付けメーカー3 InDesign

● ユーザーズマニュアル

# 面付けメーカー 3 InDesign ～InDesign用の自動面付けソフト～

© みーしゃ

program@mi-sha.com

http://www.mi-sha.com/program

## 1 はじめに

このたびは、「面付けメーカー 3 InDesign」をご利用いただき、誠にありがとうございます。

面付けメーカー 3 InDesign は、InDesign 上で動作する面付けソフトです。InDesign、イラストレータ、フォトショップ等で作成したデータや、PDF、写真や画像などのデータを、簡単な操作で InDesign 上で面付けして出力ができます。

DTPオペレータの視点から、必要な機能になるべく簡単に利用できるように設計しております。

自動で位置を調整し面付けする自動面付け機能をはじめ、背丁と背標の設定、自動で版の名前と版の番号を入力、トンボのサイズ設定など、印刷に必要な機能を多く搭載しています。

前バージョンより追加・修正された点は以下の通りです。

- ① InDesign CS5.5 に対応しました
- ② 版のサイズを超える面付けやトンボの書き出しが可能になりました
- ③ 背丁と背標の幅を指定できる機能を追加しました
- ④ ドブ幅を広げた場合、背丁と背標の位置がずれてしまうバグを修正しました

## 2 動作環境

Adobe InDesign CS2、CS3、CS4、CS5、CS5.5 Windows 版がインストールされた PC

Adobe InDesign CS2、CS3、CS4、CS5、CS5.5 Mac 版がインストールされた PC

※ Adobe 社の仕様変更が無い限り恐らく動作するとは思いますが、InDesign の新バージョンでは動作の保証がされておりません

## 3 インストール方法

「面付けメーカー 3・フリー版.jsx」、「面付けメーカー 3・プロ版.jsx」、「面付けメーカー 3・プロ VL 版.jsx」のいずれかのファイルを、InDesign をインストールした先のフォルダ内にある「/Presets/Scripts (CS2の場合)」または「/Scripts/Scripts Panel (CS3以降の場合)」にコピーするだけです。

InDesign CS2 Windows 版の場合のインストール先フォルダ

C:¥Program Files¥Adobe¥Adobe InDesign CS2\_J¥Presets¥Scripts の中に、面付けメーカーのファイルをコピーします。

InDesign CS2 Mac 版の場合のインストール先フォルダ

/Applications/Adobe InDesign CS2\_J/Presets/Scripts の中に、面付けメーカーのファイルをコピーします。

InDesign CS3 以降のインストール先フォルダ

- ① InDesign を起動し、メニューから「ウィンドウ」→「自動化」→「スクリプト」を選び、スクリプトパネルを表示します。
- ② スクリプトパネル内のオプションボタンを押し、「ユーザ」のフォルダを展開し、  
「エクスプローラで表示」(Windows)  
「Finderで表示」(Mac)  
を選択します。
- ③ 表示された「Scripts Panel」フォルダの中に、面付けメーカーのファイルをコピーします。

## 4 アンインストール方法

インストールしたファイルを削除するだけで OK です。

## 5 フリー版、プロ版、ボリュームライセンス版の違い

- ・フリー版はフリーウェア(無料)ですが、機能制限があります。  
※フリー版は配置できるデータが A4 のみに固定され、一度に設定できる版の数も最大 4 つまでになっています。
- ・プロ版はシェアウェア(有料)で、機能制限がありません。
- ・ボリュームライセンス版はシェアウェア(有料)で、同一の法人・団体が所有する PC において、Windows・Mac を問わず、  
台数無制限でインストールをすることが可能なバージョンです。それ以外の機能はプロ版と同じです。

## 6 著作権／転載など

- ・本ソフト・プログラムの著作権は作者である みーしゃ が保持します。
- ・本ソフト・プログラムを配布・転載することは一切禁止します。
- ・本ソフト・プログラムを改造して利用することを禁止します。

## 7 免責事項

- ・作者は本プログラムの利用において、直接、または間接に生じる損害について、一切責任を負いません。
- ・本プログラムの利用料金は、あくまでも本プログラムの利用のみであり、ご利用のサポートまで含むものではありません。  
(ただし、メールでのお問い合わせにつきましては、作者ができる限りでサポートをいたします)
- ・プロ版、ボリュームライセンス版のご利用に関しましては、ご利用後の返金には一切応じられませんので、まずはフリー版で動作を確認され、内容に納得された方のみご送金くださいますようお願い申し上げます。

## 8 ご使用の際の条件

- ・「面付けメーカー 3 InDesign フリー版」のプログラムは、最新バージョンに限ってのみご利用いただけます。  
(面付けメーカー 3 InDesign フリー版は、最新バージョンが公開された場合、すみやかに旧バージョンを削除し、新バージョンをインストールすることが、ご利用の条件となります)
- ・「面付けメーカー 3 InDesign プロ版」のプログラムは、ご契約者さまが所有する 1 台の PC にのみインストールができます。  
(複数の PC で本プログラムをご利用をされる場合には、使用台数分の利用料金が必要となります)
- ・「面付けメーカー 3 InDesign プロ・ボリュームライセンス版」のプログラムは、ご契約先の会社・団体さまの所有する PC において、Windows・Mac を問わず、台数無制限でインストールをすることができます。  
(3 台以上の PC でプロ版のプログラムをご利用をされる場合には、こちらのほうがお安くなります。また企業のコンプライアンス (法令遵守) の観点からも、プロ版を複数台でご利用される場合には、こちらをお勧めいたします)
- ・「面付けメーカー 3 InDesign プロ版」および「面付けメーカー 3 InDesign プロ・ボリュームライセンス版」のプログラムは、シェアウェアです。プロ版またはプロ・ボリュームライセンス版をご利用いただく場合には、必ず作者に送金していただく必要があります。送金につきましては、以下のホームページをご利用ください。

※ ベクターシェアレジサービス (プロ・ボリュームライセンス版) [http://shop.vector.co.jp/service/servlet/NCart.Add?ITEM\\_NO=SR235561](http://shop.vector.co.jp/service/servlet/NCart.Add?ITEM_NO=SR235561)  
※ ベクターシェアレジサービス (プロ版) [http://shop.vector.co.jp/service/servlet/NCart.Add?ITEM\\_NO=SR235560](http://shop.vector.co.jp/service/servlet/NCart.Add?ITEM_NO=SR235560)  
※ みーしゃのホームページ <http://www.mi-sha.com/program/>

- ・ベクターシェアレジ、または、みーしゃのホームページからご購入された場合、送金終了後にキーコードが発行されますので、「面付けメーカー 3 プロ版」または「面付けメーカー 3 プロ・ボリュームライセンス版」の圧縮ファイルを、そのキーコードをパスワードにして解凍してください。  
(zip 等の圧縮ファイルの解凍には、ベクター内で公開されている各種フリーソフトをご利用ください)
- ・本項の「8 使用条件」に加え、「6 著作権／転載など」と「7 免責事項」の中にあるすべて項目に同意されない限り、本プログラムを使用することはできません。

## 9 連絡先／お問い合わせ先

何かご不明の点やご質問があらわれる場合には、お気軽にご連絡ください。

みーしゃ [program@mi-sha.com](mailto:program@mi-sha.com)  
<http://www.mi-sha.com/program/>

## ◆ 面付けメーカー 3 InDesign 使用方法

### 1 始める前の準備

- ① 前項の「**2** 使用条件」の同意後に、「**3** インストール方法」により、面付けメーカー 3 InDesign のインストールを行ってください。

- ② スクリプトのメニューから面付けメーカー 3 InDesign をダブルクリックして起動させます。

※ スクリプトのメニューは、InDesign のメニューより「ウインドウ」→「自動化」→「スクリプト」で表示できます



面付けメーカー3-設定画面1

●版の設定

現在のドキュメントに追加 (OK) キャンセル

横(X)のサイズ(mm) 210

縦(Y)のサイズ(mm) 297

●くわえの方向とサイズ

くわえの方向 上

くわえのサイズ(mm) 10

●配置するデータ(仕上がり)のサイズ

A4(縦)

横(X)のサイズ(mm) 210

縦(Y)のサイズ(mm) 297

●配置するデータの向き

そのまま(↑)

●丁付け数(横×縦=丁付け数)

横方向(丁) 2

縦方向(丁) 2

### 2 設定画面 1

#### ●版の設定

メニューから、「版の新規作成」または「現在のドキュメントに追加」を選びます。

InDesign を利用して、出力データが作成されますので、版のデータを新たに作成する場合には、「版の新規作成」を選び縦と横のサイズを入力します。

上記で作成したデータに、新たな面付けを追加したい場合には、そのドキュメントが開かれて選択されている状態で、「現在のドキュメントに追加」を選択します。  
※この場合、版のサイズは選択されているドキュメントのサイズに合されますので、新たにサイズを入力しても無効です。

#### ●くわえの方向とサイズ

くわえ(咥え)とは、印刷機で印刷する際に、紙送りに必要な部分で、印刷が不可能な範囲です。印刷用の版を出力する際には、このサイズを考慮する必要があります。

版のデータ内で、くわえの方向を「上」「下」「左」「右」から選択し、印刷機械の環境に合わせて、くわえのサイズを入力してください。

#### ●配置するデータ(仕上がり)のサイズ

印刷物の最終的な仕上りサイズを決定します。断ち切り分は加えないでください。  
縦と横のサイズも、仕上りの状態から決定してください。

配置するデータ(仕上がり)のサイズを、定形紙から選択した場合には、選択した定形紙のサイズに合わされますので、サイズの入力は無効になります。サイズを手動で入力したい場合には、メニューから「サイズ入力」を選択した状態で、縦と横のサイズの入力をしてください。

#### ●配置するデータの向き

版に対して、配置するデータをどの向きで配置するかを決定します。

横倒しの場合には、「90度回転(←)」か「270度回転(→)」を選択します。

逆に版に対して、縦で配置する場合には「そのまま(↑)」か「180度回転(↓)」を選択します。

※例えば、上の列と下の列で向きが異なる面付けの場合には、次のメニューで設定しますので、ここでは、基準としたい配置データを基にして、向きを決定してください。

#### ●丁付け数(横×縦=丁付け数)

版に対して、配置するデータが横にいくつ、縦にいくつにするかを入力します。

例えば、横に2つ並ぶ2丁付けの場合、横方向に「2」、縦方向に「1」と入力します。単純に並ぶ数をそれぞれ入力すればOKです。

- ☒ 「OK」を押すと、設定画面2に移ります。  
「キャンセル」を押すとメニューが終了します。



### 3 設定画面2

面付けメーカー3・設定画面2

○版のサイズ(横×縦) 650×550mm  
○配置データのサイズ 297×210mm (90度回転済)

○丁付数(横×縦) 2×2=4丁  
○くわえ 上から 10mm

●配置する基準の位置  
移動調整(-mm ~ +mm)

●トンボとテキストのカラー  
●トンボの線の太さ(mm)

●コーナートンボ(┌ ┐)の設定  
●上下の中間トンボ(└ ┘)の形 縦1列目  
●左右の中間トンボ(┐ ┌)の形 横1行目  
●センタートンボ(— —)の設定

●配置データの断ち切り(上下左右 + mm)  
●反転させたい配置データ(+180度回転します)  
●背丁と背票の基準位置(次のメニューで設定)  
●背丁と背票の幅(mm)

●版のタイトルの位置  
●版のタイトル  
●版のタイトルのサイズ(Q)と書体

版の中心(センタリング)  
0  
レジストレーション(全色)  
0.1  
つける  
山  
山  
反転なし  
開ける(割(通常))  
2  
上  
小塚ゴシック Pro M  
C M Y K  
上 下 左 右 中心

OK  
キャンセル

#### ●配置する基準の位置

「版の中心(センタリング)」…… 配置データを版の中心(センター)を基準に配置します。通常はこれを選択します。  
「版の左から」…… くわえを「上」「下」に設定した場合に選択できます。版の左端を基準に配置します。  
「版の上から」…… くわえを「左」「右」に設定した場合に選択できます。版の上端を基準に配置します。  
「移動調整(-mm ~ +mm)」…… 上記で選択した基準の位置から、移動させたいサイズを入力します。通常は「0」です。

#### ●トンボとテキストのカラー

トンボと、版のタイトルなどで使用する文字のカラーを決定します。  
「レジストレーション(全色)」…… 通常はこれを選択します。CMYKと特色を使用している場合には特色も出力されます。  
「C」「M」「Y」「K」…… CMYKの各色を選択して出力したい場合には、「レジストレーション(全色)」のチェックを必ず外し、出力したい色にチェックを入れます。

※「レジストレーション(全色)」と、「C」「M」「Y」「K」の両方にチェックを入れた場合には、レジストレーションが優先されます。

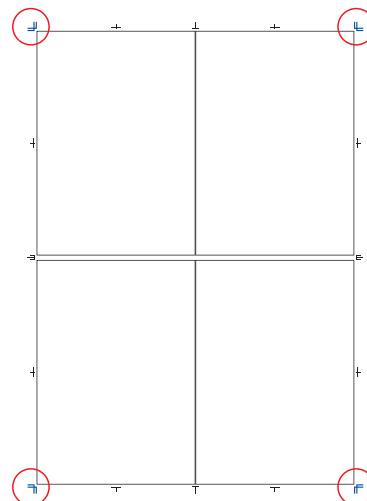
#### ●トンボの線の太さ(mm)

トンボで使用する線の太さを決定します。0.1mm ~ 0.2mm くらいが良いでしょう。

#### ●コーナートンボ(┌ ┐)の設定

まず、コーナートンボ(四隅の角トンボ)をつけるかどうかを決定します。通常は「つける」ですが、画像のみを配置したい場合には、「なし」を選択します。

次に、コーナートンボの内幅のサイズを決定します。通常は「3」(ミリ)ですが、特殊な断ち切り幅を設定したい場合にはそのサイズを入力し、逆に幅を無くしたい場合には「0」を入力します。



## ●上下の中間トンボ（⊥ ⊥）の形

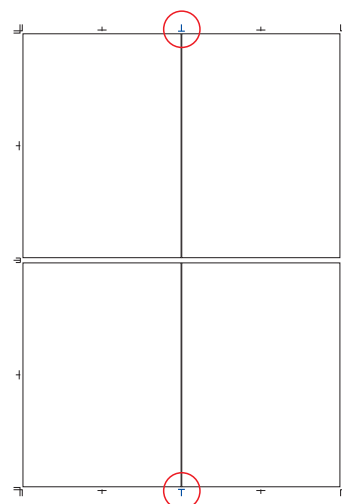
版から見て、上と下に配置されるトンボです。センタートンボの一種ですが、中心を表すセンタートンボと区別するため、便宜上、「上下の中間トンボ」という名称を使用しています。

この項目は、横に並べて配置するデータの数により、設定できる数が変動します。例えば横に4つ並べて面付けした場合には、そのデータ間にトンボが作成されるので、3つのトンボの設定項目が表示され、各トンボごとに異なる間隔を設定できます。

※ただし、配置するデータ数が7以上（トンボの数が6以上）になるときは、上下の中間トンボは共通の設定となります

まず、配置するトンボの形を選択します。断ち切り幅が無い場合には「⊥」を選択し、断ち切り幅がある場合には「山」または「凵」を選択します。「山」と「凵」の違いは、中心の線があるかないかの違いだけです。

次に、配置するデータとデータの横の間隔を設定します。例えば、すぐ隣合わせで配置する場合には、トンボの形を「⊥」に選択し、間隔を「0」で入力しますが、断ち切り幅が3ミリ同士のものを配置する場合には、トンボの形を「山」に設定し、間隔を3ミリ+3ミリの「6」を入力します。

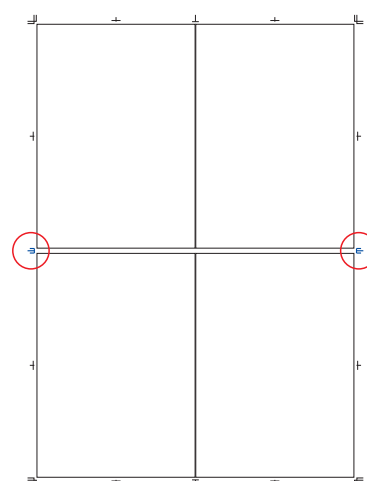


## ●左右の中間トンボ（⊥ ⊥）の形

版から見て、左と右に配置されるトンボです。あとは「上下の中間トンボ」の項目と違いはありません。（右の図は、「山」の形のトンボの例です）

この項目も、縦に並べて配置するデータの数により、設定できる数が変動します。例えば縦に4つ並べて面付けした場合には、そのデータ間にトンボが作成されるので、3つのトンボの設定項目が表示され、各トンボごとに異なる間隔を設定できます。

※ただし、配置するデータ数が7以上（トンボの数が6以上）になるときは、左右の中間トンボは共通の設定となります

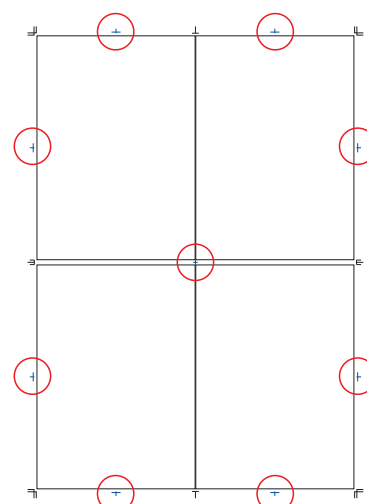


## ●センタートンボ（—|—）の設定

それぞれに配置されたデータの中心を表すセンタートンボを付ける方向を設定します。

この項目にチェックを入れると、指示された方向に、配置したデータの中心を表すセンタートンボが作成されます。

「中心」にチェックを入れると、面付けの中心位置にセンタートンボ（十字トンボ）が配置されます



## ●配置データの断ち切り（上下左右+ mm）

断ち切りがある場合に、断ち切りのサイズを入力します。断ち切り幅は全方向一律となりますので、例えばページもので外側のみに断ち切り幅が3mmあり、内側の折りの方向には断ち切り幅が無い場合でも、「3」と入力してください。

なお、設定画面3の自動面付け機能を使う場合には、配置データもすべての方向に均一の断ち切り幅をプラスしたデータを作成してください（例えば、断ち切り幅が3mmあり、仕上がりがA4のサイズのデータの場合には、216 × 303mmのデータとなります）。

ただし、仕上がりの中心位置を基準に、配置位置の調整を自動的に行いますので、配置するデータ内の中心さえ合っていれば、どのサイズでも、自動的に正しい位置（仕上がりの中心位置）に配置できます。

## ●反転させたい配置データ（+ 180 度回転します）

180 度回転させたい「行」または「列」を設定します。

例えば、4 丁×4 丁の配置で、設定画面 1 の「●配置するデータの向き」で、「そのまま（↑）」を選択した場合には、右図のようになっています。

「反転なし」…………… 行・列ともに「A」のままです。

「奇数の ←行→ を反転」…………… 奇数の行が「V」となります。

「偶数の ←行→ を反転」…………… 偶数の行が「V」となります。

「奇数の ↑列↓ を反転」…………… 奇数の列が「V」となります。

「偶数の ↑列↓ を反転」…………… 偶数の列が「V」となります。

	奇数の列↓	偶数の列↓	奇数の列↓	偶数の列↓
奇数の行→	A	A	A	A
偶数の行→	A	A	A	A
奇数の行→	A	A	A	A
偶数の行→	A	A	A	A

奇数の ←行→ を反転	偶数の ←行→ を反転	奇数の ↑列↓ を反転	偶数の ↑列↓ を反転
V V V V	A A A A	V A V A	A V A V
A A A A	V V V V	V A V A	A V A V
V V V V	A A A A	V A V A	A V A V
A A A A	V V V V	V A V A	A V A V

## ●背丁と背標の基準位置（詳細は次のメニューで設定します）

背丁と背標をつける向きを決定します。「閉じる側（通常）」または「断裁する側」を選択します。

「閉じる側（通常）」は、本を閉じる背の方向に、背丁と背標の向きが決定されます。

「断裁する側」は、断裁後に背丁と背標が残らないように、上や下など断裁する方向に、背丁と背標の向きが決定されます。

※背丁と背標の詳細は、次のメニューで設定します。

## ●背丁と背標の幅（mm）

背丁と背標の幅（mm）を設定できます。1mm から 100mm の間で設定できます。

初期設定は 2mm になっています。

※背丁と背標の詳細は、次のメニューで設定します。

## ●版のタイトルの位置

版のタイトルをつける位置を決定します。「上」「下」「左」「右」または「つけない」を選択します。

このタイトル位置は、「CMYK」の文字列や、版の番号の文字列も共通となります。また、「つけない」を選択した場合には、タイトルだけでなく、これらの文字列も表示されなくなります。

## ●版のタイトル

版のタイトルを入力します。どの版なのか判別するために、例えば「〇〇社 〇〇〇の本」などを入力します。

※設定ウインドウの枠は小さいですが、それ以上の文字数を入力できます。

## ●版のタイトルのサイズ（Q）と書体

版のタイトルの文字列のサイズ（級）と書体を設定できます。文字列のサイズや書体を変更したい場合に入力します。

なお、書体名を消去するか、空白または「デフォルト」と入力した場合には、InDesign で基本設定にされているフォントで文字列が作成されます。

- ☒ 「OK」を押すと、設定画面 3 に移ります。  
「キャンセル」を押すと設定画面 1 に戻ります。



### 3 設定画面3

面付けメーカー3・設定画面3

●面付けする総ページ数  OK キャンセル

●タイトルに追加する連番の方式(2組ずつ数値が増加)

入力A

入力B

連番の開始番号

●通し番号の追加(1ずつ数値が増加)

通し番号の前に追加する文字列

通し番号の開始番号

●背丁と背標(仕上げの高さ6分の5の範囲で配置)

開始番号(〇〇折)

1ヶ所目

●自動面付け(仕上りの中心位置に配置されます)

●面付けの順番(上から左→右、次の行…という順です)

複数のファイルの例: p1.eps,p4.ai,p2.pdf,p3.eps,…… [ファイル名][半角カンマ][ファイル名][半角カンマ][ファイル名]……

InDesign内のページの例: book.indd,1,4,2,3,5,8,6,7…… [ファイル名][半角カンマ][ページ番号][半角カンマ][ページ番号]……

配置サイズの指定(eps.aiその他)

配置サイズの指定(PDF)

配置サイズの指定(indd)

●面付け後の画像のロック

※出力前に、必ず、面付けの内容と位置をご確認ください

#### ●面付けする総ページ数

面付けする版の総数(台数)を入力します。  
例えば 8 ページのデータを 4 丁で付けた場合、2 台の版で面付けができますので、「2」と入力します。

#### ●タイトルに追加する連番の方式 (2組ずつ数値が増加)

版のタイトル部分に、版ごとの名前と番号を入力できます。印刷では通常、表面と裏面で 1 セットと考えますので、「1 つ目の表面、1 つ目の裏面、2 つ目の表面、2 つ目の裏面、3 つ目の表面……」という具合に版を数えていきます。版の連番は 2 版で 1 つずつ数値が増加していきます。

※設定画面 2 の「●版のタイトルの位置」で「つけない」を選択した場合には、この項目を選択・入力しても表示はされません。

「つけない」	版の連番を入力したくない場合に選択します。
「1 の外,1 の内,2 の外,2 の内……」	左記の通りの順番で、連番したいときに選択します。
「1 の内,1 の外,2 の内,2 の外……」	左記の通りの順番で、連番したいときに選択します。
「1 の表,1 の裏,2 の表,2 の裏……」	左記の通りの順番で、連番したいときに選択します。
「1 の裏,1 の表,2 の裏,2 の表……」	左記の通りの順番で、連番したいときに選択します。
「(入力 A)1,(入力 B)1,(入力 A)2,(入力 B)2……」	独自の名前で連番を作成したいときに選択します。
「入力 A」「入力 B」	上記の独自の名前を選択した場合に、表示させたい文字列を入力します。
「連番の開始番号」	連番の開始番号を入力できます。2 版で 1 つずつ数値が増加していきます。

#### ●通し番号の追加 (1 ずつ数値が増加)

前述の「●タイトルに追加する連番の方式 (2 組ずつ数値が増加)」は表面と裏面の 1 セットで、数字が 1 つずつ増加していきますが、こちらは 1 つの版ごとに数字が増加していきます。版に通し番号を入れたい場合などで使用します。通し番号が不要な場合は、入力不要です。

※設定画面 2 の「●版のタイトルの位置」で「つけない」を選択した場合には、この項目を選択・入力しても表示はされません。

「しない」	通し番号を入力しません。
「する」	通し番号を入力したい場合に選択します。
「通し番号の前に追加する文字列」	通し番号を入力する場合で、番号の前に文字列を挿入したい場合に入力します。
「通し番号の開始番号」	通し番号の開始番号を入力できます。

## ●背丁と背標（仕上げの高さ 6 分の 5 の範囲で配置）

背丁と背標をつけるかどうかを選択します。ページものを印刷した場合、通常は両面印刷した紙を折り、順に並べて製本（丁合い）をしていきます。そのときに乱丁や落丁を防止するため、折った時の背の部分に、順に並んでいることが一目で判る「背標」と、本のタイトルや折番号である「背丁」を入れます。ここではその項目を設定します。

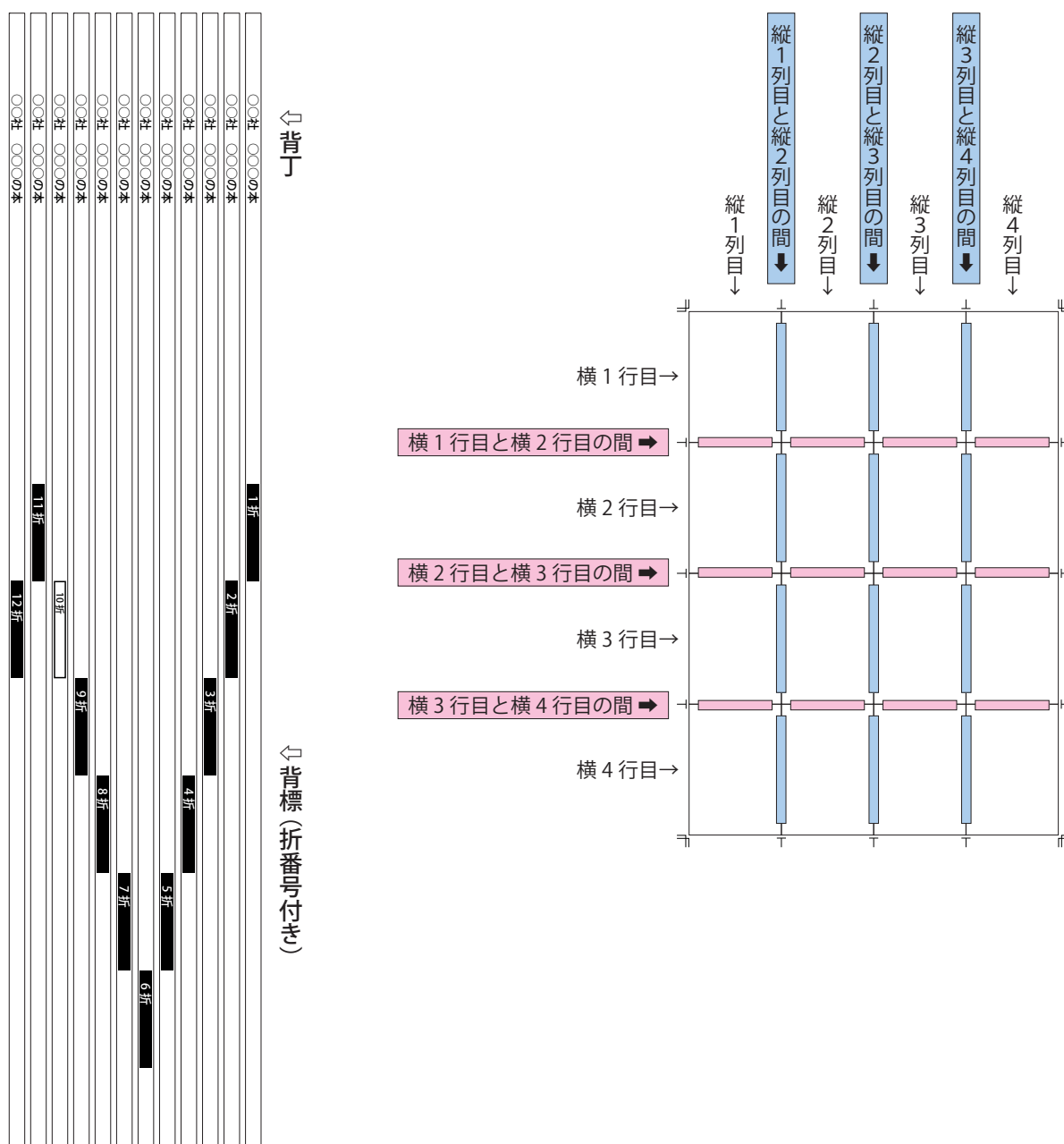
なお、設定画面 2 の「●背丁と背標の基準位置」の項目で、「断裁する側」に設定した場合には、配置データから見て上または下（断裁される側）に背丁と背標が配置されます。

「つけない」…………… 背丁と背標をつけない場合に選択します。  
「奇数の面付け分につける」…… 奇数の版に背丁と背標をつける場合に選択します。つける場合、通常はこれを選択します。  
「偶数の面付け分につける」…… 偶数の版に背丁と背標をつけたい場合に選択します。  
「全部の面付け分につける」…… すべての版に背丁と背標をつけたい場合に選択します。

「開始番号（〇〇折）」… 背丁と背標の開始番号を入力します。背丁の位置も自動的に決定されます。

「横 1 行目 縦 1 列目と縦 2 列目の間」、「横 1 行目 縦 2 列目と縦 3 列目の間」・・・  
「縦 1 列目 横 1 行目と横 2 行目の間」、「縦 1 列目 横 2 行目と横 3 行目の間」・・・

…………… 配置するデータの向き、高さ、および、面付けする数に応じて、位置や方向が設定できます。  
背丁と背標は、配置データの高さ（または幅）の  $\frac{5}{6}$  の位置に配置されます。  
また、配置できる最大数は、4 丁の面付けに対し 1 箇所割合となります。

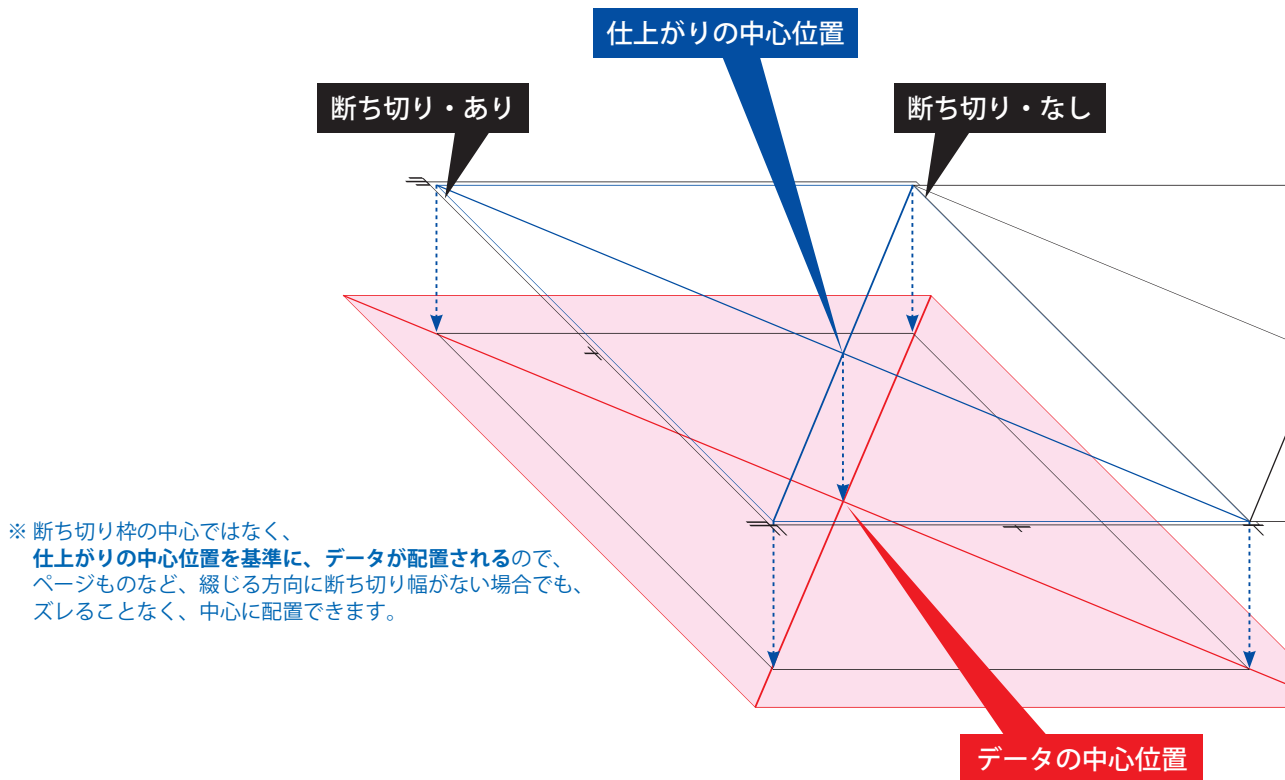


## ●自動面付け

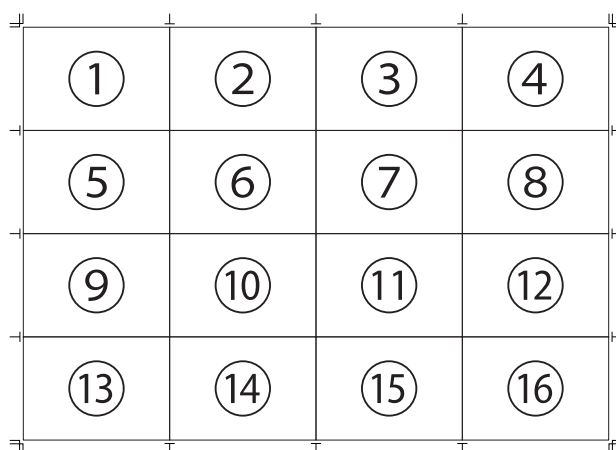
自動面付けを行うかどうかを選択します。配置できるデータの種類の、InDesign に配置できるものであれば、何でも配置できます (ai,eps,psd,tiff,jpg,pdf・・・ [さらに CS3 以降であれば「indd」ファイルも可能です])。

初期設定では、配置される位置は、仕上がりサイズを中心位置になっています。

例えば、仕上がりが A4 の本で、本の外側には断ち切りがあるが、折り側である本の内側（背）には断ち切りが無い場合でも、また、配置データの中心が合っていれば、データのサイズに関係なく、仕上がりの中心位置に自動的に配置されます。



また、面付けの順番は、どのような面付けでも、表示画面の一番上の行の左から右へ……、2 行目の左から右へ……、3 行目の左から右へ……という順番で配置されます。



※ 上記は、4 丁×4 丁を自動面付けした場合の、配置の順番例です

## ●自動面付け

- 複数のファイルを配置 …………… 複数のファイルを配置する場合、同じデータを複数配置する場合に選択をします。  
例えば、ai、eps、jpg、psd、pdf\*、indd\*（※ 先頭のページのみ配置されます）などです。  
ファイル名とファイル名の区切りには、半角文字の「,」（カンマ）を入れてください。  
（例：p1.eps,p4.ai,p2.eps,p3.eps,……）
- ※「複数のファイルを配置」で、マッキントッシュの PDF ファイルを配置する場合には、名前の最後に「.pdf」という名前（拡張子）を必ず付けるようにしてください
- ※イラストレータの「ai」形式の場合には、ドキュメントのサイズからはみ出した部分（断ち切りなど）は反映されません。  
この場合には「eps」形式をご利用されるか、または、その「ai」ファイルのドキュメントのサイズを変更（例：A4 +断ち切り 3mm であれば、216x303mm に）してからご利用ください。
- PDF 内のページを配置 …………… 1 つの PDF ファイルの内部のページを配置する場合に選択をします。  
上記と同じく区切りには、半角文字の「,」（カンマ）を入れてください。  
（例：docu.pdf,1,2,3,4,5,6,……）← 数字は、先頭のページから何番目になるかを表しています
- InDesign 内のページを配置 …………… 1 つの InDesign ファイルの内部のページを配置する場合に選択をします。（CS3 以降のみ）  
上記と同じく区切りには、半角文字の「,」（カンマ）を入れてください。  
（例：book.indd,1,2,3,4,5,6,……）← 数字は、先頭のページから何番目になるかを表しています
- 配置サイズの指定（eps,ai, その他） …………… eps ファイル、ai ファイル、その他のデータを配置する方法を選択します。  
デフォルトは「仕上がりサイズ、トンボ」になっています。なお、これらのメニュー内の項目は、InDesign 上の「配置オプション」と同じです。
- 配置サイズの指定（PDF） …………… PDF ファイルを配置する方法を選択します。デフォルトは「メディア」になっています。通常の PDF はこのオプションで問題ありません。  
裁ち落としが作られている PDF であれば、「裁ち落とし」オプションを選択することにより、裁ち落とし部分も含めた配置ができます。
- 配置サイズの指定（indd） …………… InDesign ファイルを配置する方法を選択します（CS3 以降のみ）。  
デフォルトは「裁ち落とし境界線ボックス」になっています。通常の InDesign のファイルであれば、裁ち落としの有無に関わらず、このオプションで問題ありません。

**ご注意！** データ上、配置できないオプションを選びますと、エラーになり終了しますので、ご注意下さい。

## ●面付け後の画像のロック

自動面付けした後、配置した画像を誤って移動させてしまわないように画像をロックするかどうか選択できます  
なお、画像をロックしても、InDesign のメニューの「オブジェクト」→「ロック解除」により、ロック状態を解除できます。

- ☑ 「OK」を押すと、面付けを作成いたします。  
「キャンセル」を押すと設定画面 2 に戻ります。

## ◆ 注意事項

- ・面付けと出力後の責任は一切負いかねますので、必ず、出力前に、面付けの内容と位置をご確認ください。

## ◆ バグの報告やご連絡等

- ・うまくできない場合には、まず「◆ FAQ（よくある質問と答え）」をお読みください。
- ・本プログラムについてのお問い合わせは、メール または ホームページをご利用ください。  
みーしゃ [program@mi-sha.com](mailto:program@mi-sha.com)  
<http://www.mi-sha.com/program/>

## ◆ FAQ（よくある質問と答え）

Q 自動面付けで、「○○○が見つかりません」というエラーがでて、自動面付けができない

A 比較的新しい Mac で、日本語のフォルダ名やファイル名を使用していると、このエラーが発生する場合があります。ファイル名とフォルダ名を、すべて半角の英数字にリネームしてください。また、フォルダ名は、ファイルが置かれている箇所だけでなく、その上のフォルダまで、すべて半角の英数字にリネームしてください。  
また、拡張子があるファイル名の場合には、念のため、拡張子名まですべて半角の英数字になっているかご確認下さい。（ピリオドが全角になっていないか、特殊文字を使用していないかなどもご確認下さい）

Q 「tf.locked = false;・・・」というエラーがでて止まってしまう

A 様々な原因が考えられますが、InDesign を起動し「ファイル」→「新規」→「ドキュメント」と選択されたときに、最初に表示されるウインドウ内の「ページ数」の中の数値が「1」になっていないときに起こる場合があります。  
この場合には、InDesign の環境設定ファイルをリセットすることで直ります。  
InDesign を起動した直後に、Windows の場合は「Ctrl + Shift + Alt」キーを、Mac の場合は「Control + Option + Command + Shift」キーを押すと、「InDesign 環境設定ファイルを削除しますか？」とダイアログが表示されますので、「はい」を選択することでリセットできます。  
※ただし、登録したプリントプリセット等も初期化されますのでご注意ください。

Q 「版の設定」で、版のサイズを入力しても反映されない

A 版のサイズを設定するためには、「版の新規作成」を選択している必要があります。「現在のドキュメントに追加」を選択している場合、横のサイズと縦のサイズに数値を入力しても無視されます。  
「版の設定」の項目のプルダウンメニューを「版の新規作成」に変更してサイズを入力してください。

Q 「配置するデータ（仕上がり）のサイズ」で、データのサイズを入力しても反映されない

A データのサイズを設定するためには、「サイズ入力」を選択している必要があります。例えば「A4（縦）」を選択している場合、A4 の縦のサイズ（210 × 297mm）が優先され、横のサイズと縦のサイズに数値を入力しても無視されます。  
「配置するデータ（仕上がり）のサイズ」の項目のプルダウンメニューを「サイズ入力」に変更してサイズを入力してください。

Q InDesign のファイルを面付けをしたら、マスターページの一部が抜け落ちている

A InDesign のソフト上のバグです。ヘルプメニューより、「アップデート」を実行して、御使用の InDesign を最新版にアップデートしてください。

Q 面付け終了後、ソフトの画面表示が乱れてしまうことがある

A InDesign のソフト上のバグです。データはおかしくなっておりませんので、一度保存して、InDesign を再起動してください。



## ◆ 実際に使ってみましょう

### ● 面付けするサンプルのデータ

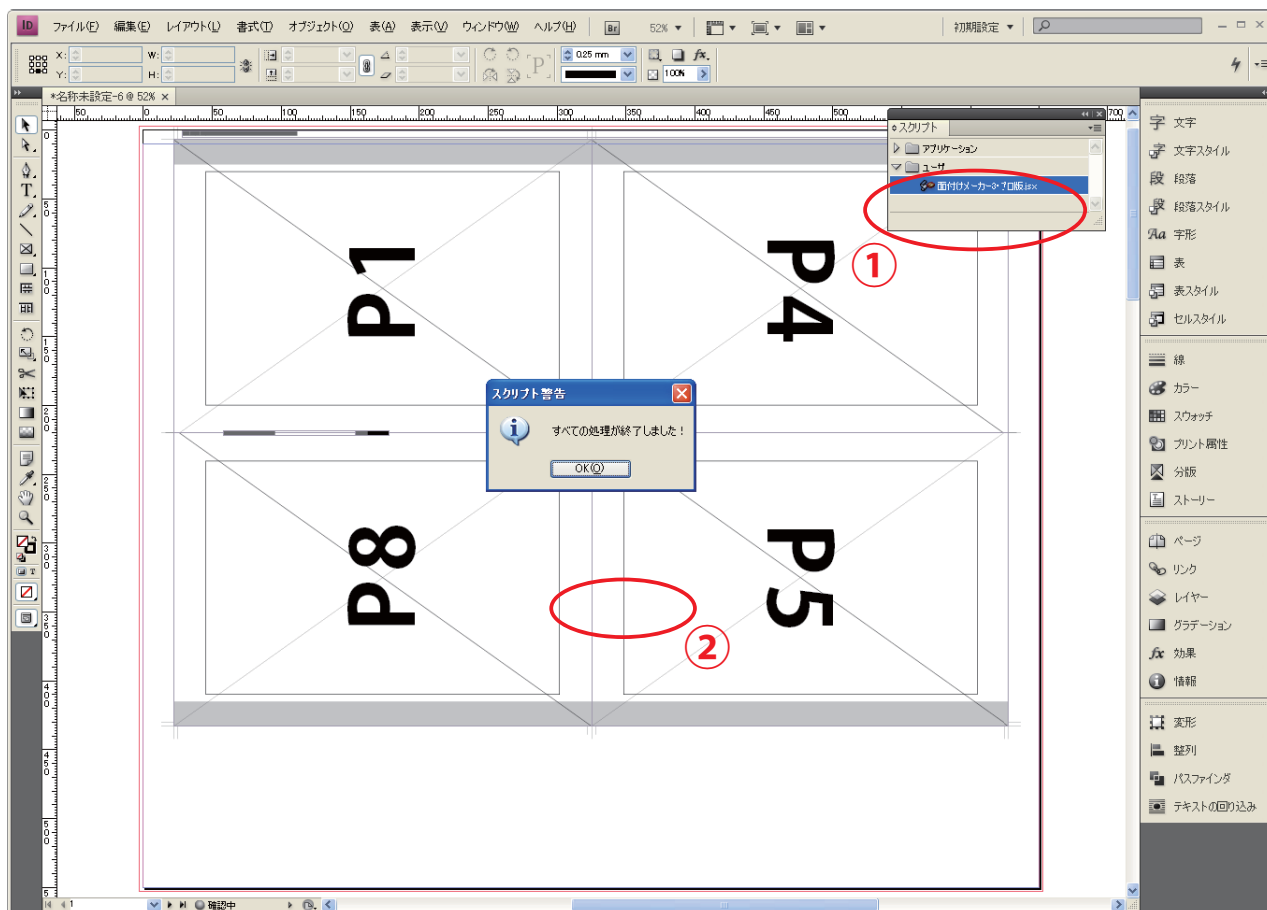
仕上がり : A4 縦 (左閉じ)  
断ち切り : 3mm  
総ページ数 : 16 ページ

版のサイズ : 650 × 550  
くわえ : 上 10mm  
面付け方法 : 4 丁 版に対して横向きで配置  
ドブの設定 : A4 に対し横方向の面付けのドブ幅は 0mm、縦方向の面付けのドブ幅は 6mm  
版の総数 : 4  
背丁と背標 : つける  
自動面付け : する

① InDesign 上で開いているファイルは、すべて閉じておきます。

InDesign のメニューから「ウィンドウ」→「自動化」→「スクリプト」で、スクリプトウィンドウを表示し、ダブルクリックして「面付けメーカー」を起動します。

② 今回の面付けのサンプル例では横向きで配置するので、配置するデータの向きを「90 度回転 (←)」に変更します。



③今回の面付けでは、4丁付けの上下の折りの中心に6mmのドブ幅を設定します。②で配置を「90度回転(←)」に変更しているので、左右ではなく「上下の中間トンボ(⊥)の形」が「山」になっていることを確認します。

また、左右の中間トンボは、横1行目の間隔が0になっていますので、自動で調整されて「⊥」の形になるので、「山」のままでも大丈夫です。

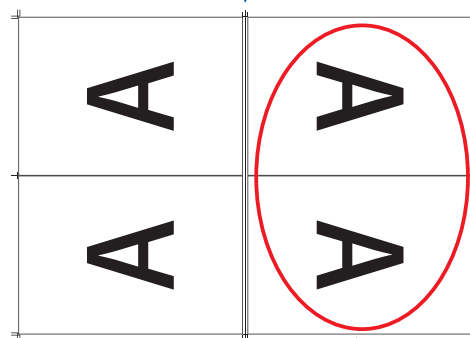
④「縦1列目の間隔(mm)」に、ドブ幅の「6」を入力します。これにより、ドブ幅が6mmになります。

⑤断ち切り幅が3mmあるデータを配置しますので、「配置データの断ち切り(上下左右+mm)」に「3」を入力します。  
(今回配置するサンプルデータは、216×303mmで作られています)

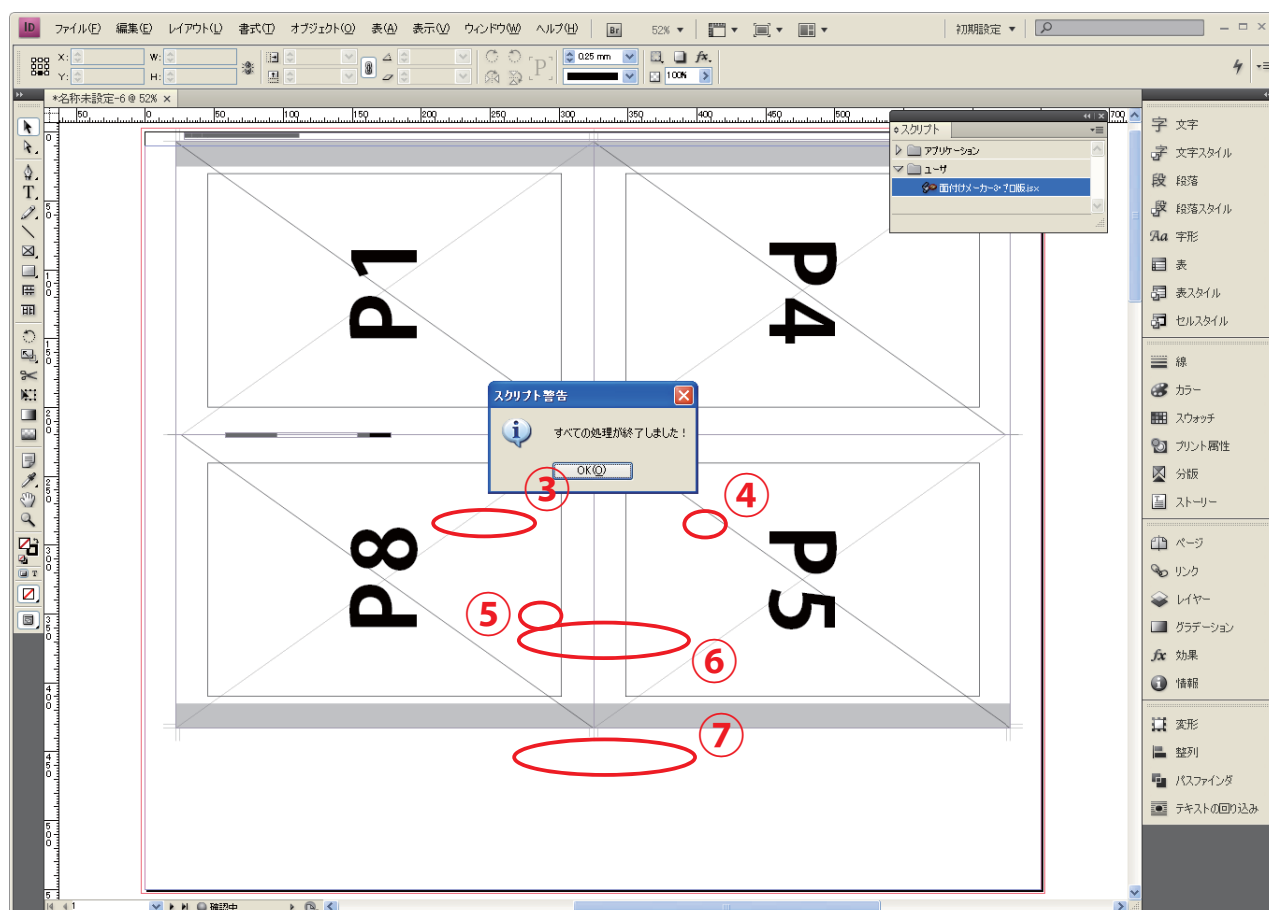
⑥今回の例では、尻合わせでの面付けですので、「反転させたい配置データ(+180度回転します)」を「偶数の↑列↓を反転」に設定します。

⑦「版のタイトル」を入力します。

③上下のトンボの形を「山」に変更 ④ドブ幅 6mm



⑥この偶数の列を180度回転させる



⑧面付けする版の総数を入力します。  
今回は16ページを4丁付けするので、 $16 \div 4 = 4$  となり、「面付けする総ページ数」の欄に「4」を入力します。

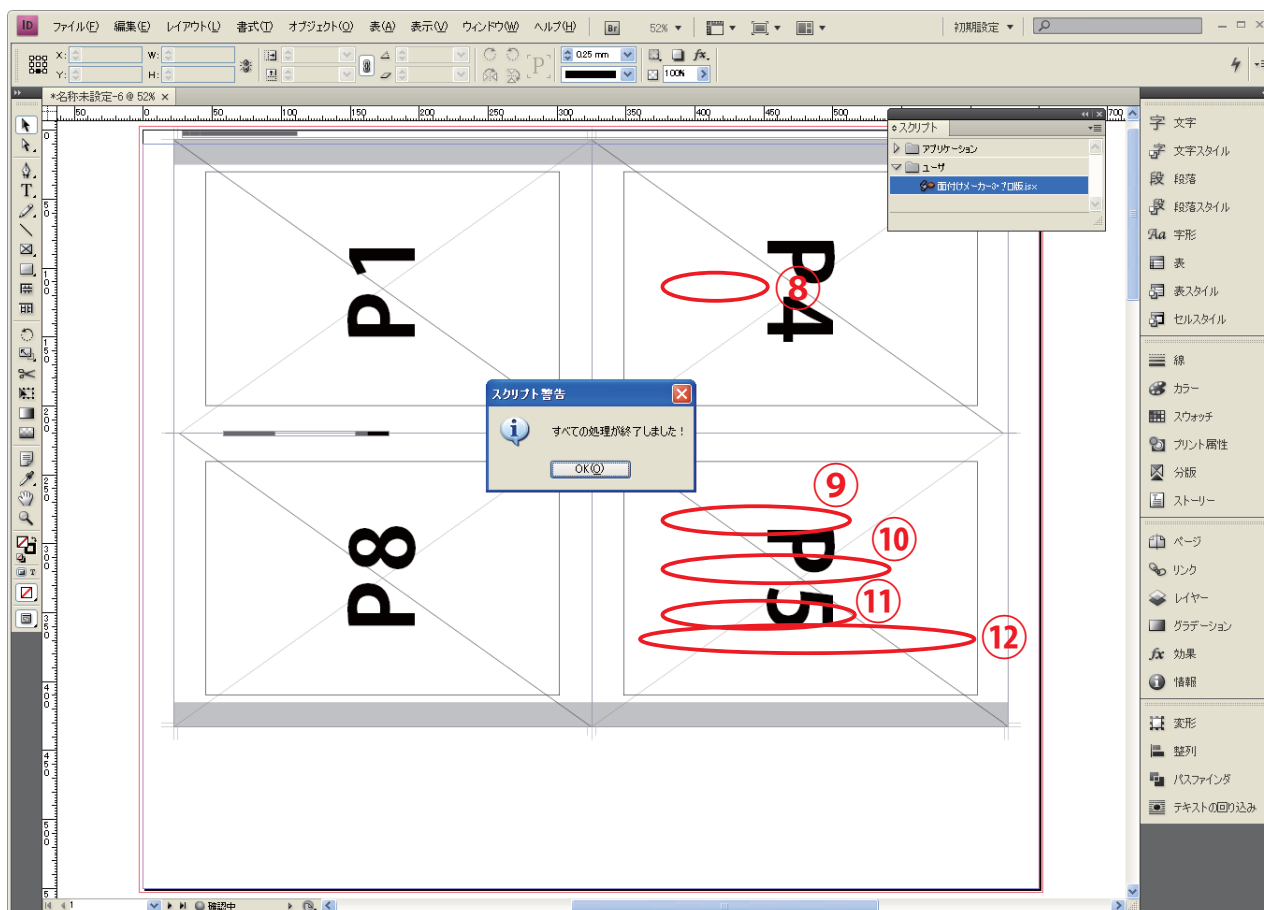
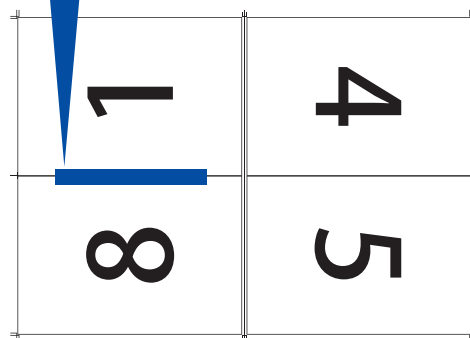
⑨今回は奇数の版に背丁と背標を付けますので、「背丁と背標（仕上げの高さ 6 分の 5 の範囲で配置）」の欄を「奇数の面付け分につける」に設定します。

⑩背丁と背標を付ける位置を指定します。  
今回の例では、「縦 1 列目 横 1 行目と横 2 行目の間」に設定しています。

⑪自動面付けの設定をします。今回は複数のファイルを面付けしますので、「自動面付け（仕上がりの中心位置に配置されます）」を「複数のファイルを配置」に設定します。

⑫面付けするファイル名を「,」（半角カンマ）で区切って入力していきます。  
面付けの順番は、画面左上から右へ…、次の行の左から右へ…、次の行の…という順番です。  
ここでは、「1,4,8,5,3,2,6,7,9,12,16,13,11,10,14,15」と入力しています。  
（今回は「面付け用サンプルファイル」のフォルダの中にあるファイル名を指定しています）

⑨⑩「縦 1 列目 横 1 行目と横 2 行目の間」に背丁と背標を付けます

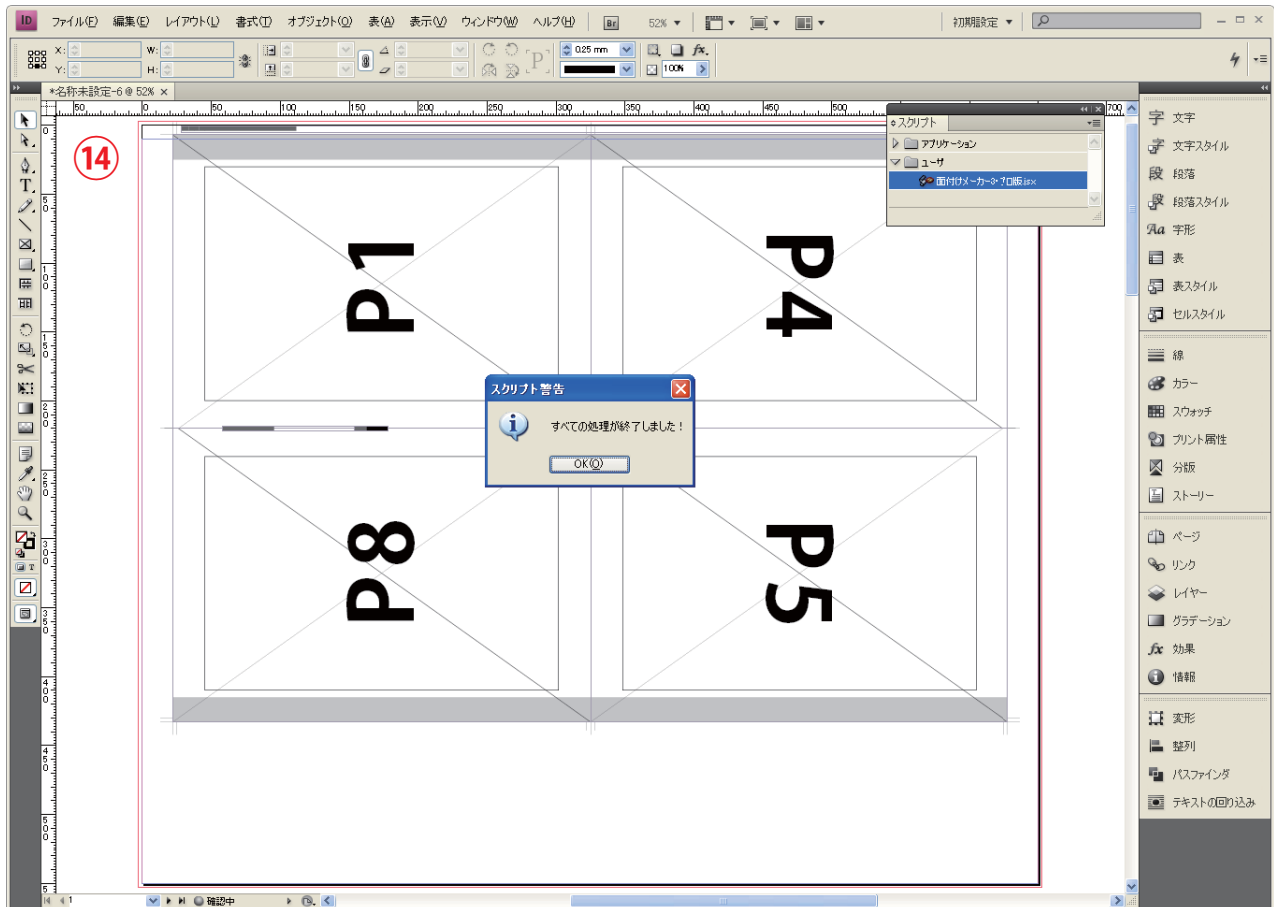
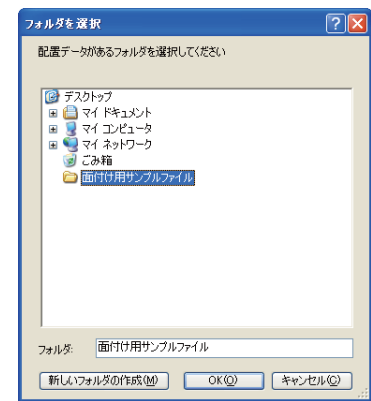


⑬自動面付けを設定すると、配置するファイルが保存している場所を指定するウィンドウが表示されます。配置するデータが保存されているフォルダを選択します。

この面付けメーカーのパッケージには「面付け用サンプルファイル」というサンプル用のフォルダがついておりますので、今回はそのフォルダを選択します。

⑭今までの①から⑬の項目が正しく設定されていれば、自動面付け済みの版のデータが作成されます。

13



以上です。